

基礎生物学委員会・基礎医学委員会・臨床医学委員会・心理学・教育学委員会合同
生物リズム分科会
第25期・第1回 議事録

日時：令和2年11月17日（火） 10時30分～11時45分

場所：ZOOMによるオンライン会議

出席：深田委員、秋山委員、上田（昌）委員、上田（泰）委員、遠藤委員、影山委員、
坂田委員、佐竹委員、内匠委員、沼田委員、本間（研）委員、三島委員、
吉村委員

欠席：尾崎委員、本間（さ）委員

審議事項

1. 生物リズム分科会設置についての趣旨説明と役員を選出

深田世話役より第25期分科会設置についての趣旨説明および確認があった。

その後、深田世話役が委員長として推薦され、承認された。その後、副委員長として三島委員が、幹事として上田（泰）委員と遠藤委員が選任された。

2. 特任連携会員の推薦

深田委員長より、近藤孝男氏（名古屋大学・特別教授）を特任連携会員として推薦する旨の説明があり、承認された。

3. その他

今後の活動についての議論があり、以下のような意見が出された。

本間（研）委員：生物リズムの知見を社会に活かせるような議論・提言が必要である。

佐竹委員：長期の気象データの継続的な取得方法を社会で考える必要がある。

秋山委員・内匠委員・吉村委員：働き方改革およびコロナ禍により、オンライン会議・テレワークの導入が進んだ結果、私たち生活リズムがどのように変化したのかについて、情報科学的な解析も含め、メリット・デメリットについて総括するようなシンポジウムを開催するのはどうか。

三島委員：生活リズムと生物リズムの関係については引き続き啓発が必要である。

深田委員長：スポーツ分野においては生物リズムを活用する余地があるだろう。

坂田委員・影山委員：短いリズムが社会にどのような影響を与えているのかについて明らかにしていく必要がある。

沼田委員：ヒト以外の生物についての自然環境でのリズムに関心を持つ姿勢が必要である。迷信（占い）の類で見られるリズムと生物リズムとの混同を解くような普及活動が必要である。

以上